

故 大島 賢三 元国連大使を偲ぶシンポジウム

## 大島 賢三 氏と兵庫県

2023年5月22日 前兵庫県知事 井戸 敏三

### 1 関わり

- ◎宇都宮 浩 氏 : 大島 氏 同期(昭和42年) 兵庫県に出向
- ◎大島 氏 故郷 : 広島

### 2 総理府国際平和協力本部事務局長

- ◎国際機関「国際人道救援ナショナルセンター」をHAT神戸に設立の提案。  
→ 人と防災未来センターの国際版
- ◎イメージ
  - ・人材登録（緊急派遣体制、人材データベース）
  - ・国際的専門人材の養成、斡旋
  - ・情報収集、調査研究
  - ・セミナー、シンポジウムなど

### 3 国連事務次長（人道支援担当）

- ◎国連人道問題調整事務所「OCHA」神戸事務所の設置（2001年）
  - ・24時間災害情報発信機能（リリースウェブ）を持つ。  
（ニューヨーク、ジュネーブ、神戸）
  - ・2012年 リリースウェブ神戸は、 バンコク アジア太平洋事務所に移管。
  - ・現在の神戸事務所  
日本国内の連絡調整、情報発信  
アジア太平洋事務所のサポート（研修協力など）
- ◎「世界防災会議2001」へのメッセージ
  - ・人と防災未来センターへの期待
  - ・OCHAの協力

### 4 駐オーストラリア大使

西オーストラリアにおける兵庫県事務所（パース）の活動を高く評価。

## 5 国連日本代表部代表（大使）

◎ 国連中央緊急対応基金（CERF）への兵庫県の拠出。

2006年：1億円（85万ドル） cf. 日本政府 8億円（750万ドル）

◎ CERFの機能

天災や人災で緊急に人道支援が必要の際、迅速に対応するための基金。

→ 従来は、基金を募ることから始めるので、緊急対応できない。

◎ 第2回 国連防災世界会議「兵庫行動枠組」の具体化の一つ。

## 6 国際協力機構（JICA）副理事長

◎ JICA兵庫（2002年）に国際防災研修センター（DRLC）を開設（2007年）

全国のJICAの防災分野研修の計画、運営の総合調整や支援を行う。

◎ JICA関西として存続